

文化情報科学群科目

よかった点

放送授業

- ・多分野にわたる研究者の出演
- ・巧みな話し方
- ・内容の濃い講義
- ・中立的な講義事例と考え方
- ・最新の研究結果の紹介
- ・フィールドワーク的なレポート
- ・海外取材の充実

通信指導

- ・丁寧なコメント
- ・コメントの分量が多い

印刷教材

- ・各章の「研究課題」
- ・各章の「研究へのヒント」
- ・各章の「トピックス」
- ・要点を具えた説明
- ・参考文献の提示
- ・簡潔なまとめた内容
- ・小論文の書き方の学習

科目全般

- ・視野の広がりが受け入れやすい
- ・知的事業に刺激を受ける
- ・新しさを活かした学び
- ・幅広い知識の活用が期待できる
- ・歴史の認識を深められる
- ・外国語の学習が役立つ
- ・復習のポイントがまとめられている

気になった点

放送授業

- ・教材の「棒読み」
- ・単調な語り口
- ・映像資料が少ない
- ・話すスピードが速すぎる
- ・インタビューを入れた方がよい
- ・複数講師の説明が重複する
- ・数式の説明が親切でない
- ・キーワードの提示がない
- ・専門用語の解説が一貫性がない

通信指導

- ・コメントが不親切
- ・模範解答がほろりする
- ・専門的すぎる視点
- ・着想や視点など内容を見て欲しい

単位認定試験

- ・授業内容との妥当性に疑問

印刷教材

- ・写真と図表が少ない
- ・難解な記述が多い
- ・重複する部分が多い
- ・厚すぎる参考文献が多すぎる
- ・表のタビがとれない
- ・章の図表がわかりやすい

科目全般

- ・テレビの放送が効果が高い
- ・最新の教材が少ない
- ・放送と印刷教材が異なる
- ・講師の対話が増える
- ・授業の進度が遅い
- ・単位取得の目安が不明
- ・問題設定が中途半端

改善点の提案

- テレビを視聴する際に、棒読みにならないように、興味深い内容をピックアップして紹介してほしい。
- 講義資料に、図表や動画を多用し、わかりやすく解説してほしい。
- 授業内容と試験内容との整合性を高め、試験問題の妥当性を確認してほしい。
- 最新の論文やニュースを取り入れ、授業の新鮮さを保つ。
- 教材の重複を避け、必要な文献を厳選してほしい。
- 数式やグラフの説明がわかりやすく、丁寧にしてほしい。
- 専門用語や統計用語の解説を、一貫性を持ってしてほしい。

よかった点（文化情報科学群）

- 毎回の課題を調べるため、週10冊程度、参考文献の中から選び、読み、非常に時間をかけて努力した。やる気のある人にはこたえられない講座だと思う。また、レポートのコメントも群を抜いて丁寧で細やかで、学習意欲を高めてくれたので、講師陣の諸先生に大変感謝している。大学院の講座らしかった。

（女性・40代）

- これまで受講した科目の中で、最も学習意欲が高まったものの一つです。フランス語と文学を中心としたフランスの文化を、「旅」というテーマによって結びつける興味深い内容を持つもので、通常なら取り組みにくい分野を楽しく学習できました。もっと勉強したいという気持ちになりました。

（女性・60代）

- 先進国と開発途上国との関連という巨視的な視点から、北欧、北米、日本国内などの国内問題まで、さらには先住民個々の内面へ、というマクロからミクロへのパースペクティブが非常にダイナミックであった。研究者のフィールドからの視点、特に個々の迷いや悩みなどの点も含め、学問としての全体像がとらえられた。

（男性・30代）

- メディアの作用について学んだことによって、平面的に見えていた世の中の動きが、奥行きを持って見えるようになりました。また、ますます情報化する社会で溺れない術（メディア・リテラシー）を学ぶことが出来たことが良かったです。

（女性・30代）

- 自分の仕事にかなり関係しており、業務上の理解や考え方が深まった。

（男性・40代）

- 日本語を材料として、日常の言語についての新しい視点を与えられた。特に、新方言と呼ばれる新しい現在進行中の言語変化と、やはり言葉との違い、又それが何を意味するのかが興味深かった。

（男性・40代）

気になった点（文化情報科学群）

- レポートの添削が、まるで初等教育の添削みたいで不満だった。着想・視点などの内容を見て欲しい。広辞苑記載の漢字表現まで直されたのには驚いた。

（男性・50代）

- テキストが共著であるということで、言い回し・表現が全体を通して統一されていない。通常の共著に比べて、統一感が著しく欠ける感じが強くて読みづらい。

（男性・50代）

- 印刷教材と同じ内容を話しているとしても、映像（見る・聞く）と印刷教材の（読む）とでは感覚は別もの。全く違う内容になると、学習する量と学習時間を確保するのがむずかしくなると思う。

（女性・70歳以上）

- もっとテーマを絞って欲しい。体験の羅列ではなく、一貫した論理や考え方を示してもらえたら、もっと理解しやすかったと思う。

（女性・40代）

- 少数の例でもよいから、個別の具体的な問題について、もう少し突っ込んだ分析例が欲しい。

（男性・50代）

- もう少し統計資料（最新の）が多いとよいと思う。

（男性・50代）

- 通信指導のコメントが丁寧ではない。明確に良かった点、改善すべき点を述べてほしい。「よく書けています」程度のコメントではせっかく記述式にしても、自分の記述能力の向上にはつながらない。

（女性・20代）

- ラジオ講座は映像の助けがないからこそ、一層伝え手には創意工夫が求められると思う。

（女性・30代）

環境システム科学群科目

よかった点

- 放送授業**
- ・ 現地の映像対話や討論
 - ・ 講師の熱意調査の紹介
 - ・ 最新実験場での映像インタビューの整合性
 - ・ 実現場印刷体的な説明
 - ・ 印刷具各師の個性

- 印刷教材**
- ・ 各章の「研究課題」の整理に役立つ
 - ・ 構成考文献の紹介
 - ・ 基本的、基礎的な内容
 - ・ 学術的、な裏づけ
 - ・ キーワードの抽出
 - ・ イラストでの説明
 - ・ 最近のテーマ
 - ・ 歴史の記述

科目全般

- ・ 視野の広い研究の概況を把握
- ・ 最先端の役割の獲得
- ・ 最新仕事の知識の受予の参考
- ・ 数新学的論文や現況の認識の獲得
- ・ 修歴生史の活用と関連性の理解
- ・ 実他の分野と関連性の理解

気になった点

- 放送授業**
- ・ 表情が硬く話を増やしてほしい
 - ・ CGの映たどどしい
 - ・ 数式の変形の仕方を画像で見たい
 - ・ インタビュー形式の映像が少ない
 - ・ 討論や実習の良さや迫力が伝わらない
 - ・ 実験や実習の観察的要素を加えてほしい
 - ・ イメージの文字が読みにくい
 - ・ 図表的な機能を活用してほしい

- 印刷教材**
- ・ 研究課題に触れてほしい
 - ・ 分量が多い系をバラバラに書いてほしい
 - ・ 記号の意味をよたよたとせよ
 - ・ 索引が複雑で見つけにくい
 - ・ 重力が一分野の図をよせよ
 - ・ 不適切な記述の箇所がある

- 授業科目案内**
- ・ 必要な化学知識を明示してほしい
 - ・ 化学知識が必要という記載がない

- 単位認定試験**
- ・ 正解の解説がない
 - ・ 問題数が時間の割には多い

科目全般

- ・ テレビの良方がない
- ・ 範囲の広い方がよい
- ・ 実例が少ない興味を惹く工夫がほしい
- ・ 学習者が豊かになる工夫がほしい
- ・ 一貫性が豊かすぎる比較検討すべき
- ・ 課題等がより内容が相違
- ・ 科目名が一方的

改善点の提案

- テレビ科目を多くする。
- 話し手は表情や話し等の注意を。
- 視覚的機能（C等）を多用する。
- テーマを絞る。
- 実験等履修者は注意を。
- 授業科目案内には、必要科目を明示する。

よかった点（環境システム科学群）

- ラジオ放送での印刷教材の正しい読みあわせは、非常に役に立った（これを重複と解釈していない）。
(男性・60代)
- 数学という世界の一端を垣間見ることができたような気がします。結論が先にあり証明は後から、そして真実の一端を示す数式は美しいのだという、今まで聞いたこともない展開に、驚きと感動を覚えました。また、通信指導の問題が解けたかもしれない、と思った瞬間には、その数学の世界が一瞬見えたような気がしました。
(男性・40代)
- 最新の学識を、テレビの画像、映像を通して学べたこと。
(男性・30代)
- 講師自身のフィールドワークの成果の話は貴重であった。
(男性・50代)
- 最先端の研究の概況を知ることができ、とても刺激になった。研究の方法や装置のVTRによる紹介、分子構造のCGなどは、テレビならではのことで非常に良かった。
(男性・40代)
- TV授業の映像が分かりやすく、見ていて飽きなかった。
(男性・40代)
- 生活に密着した内容であり、実際に役立つ事柄が多かった。
(女性・40代)
- 「食」というキーワードから、諸々の知識獲得につながる構成がよかった。
(女性・30代)
- 現場インタビューを交えながらの説明で理解度が増し、新しい知見が得られた様な感があります。
(男性・70歳以上)

気になった点（環境システム科学群）

- テレビでの表情が硬く、話し方が棒読みのようでした。
(男性・50代)
- テレビに映しだされる図の字が小さくて、読みとるのが大変なことがありますので、大きく映すなどもう少し配慮していただければと思います。
(男性・30代)
- 内容が高度で多岐にわたるため学習が困難。ラジオの講義では無理があるように思う。講義担当者と質疑応答がインターネット等でできるとありがたいが。
(男性・60代)
- 数理系の場合は、数式の展開などTV授業が望ましい。
(男性・60代)
- この科目だけに限るものではなく、すべての科目に言えることとして、印刷教材の章末に簡単な理解度を確認できるような練習問題等を入れていただけるとありがたいと思います。
(男性・30代)
- 改訂のペースは早いとありがたいと思います。改訂があれば、テキストだけでも購入したいと思っています。
(男性・40代)
- 調査法については羅列的な紹介にとどまらず、実情・欠点・課題などを比較、検討して突っ込んだ講義をしてもらいたい。
(女性・50代)
- 教科書を読んでいて、ミスプリと思える所が少しあり質問したが、十分に校正して正誤表のいない教科書にしてほしい。
(男性・70歳以上)
- 印刷教材の図表、写真、その他にできる限り「カラー表示」を取り入れると、内容がいつそう理解しやすくなり助かります。
(男性・70歳以上)

政策経営プログラム科目

よかった点

- 放送授業**
- ・ 実務者や専門家のインタビュー
 - ・ 外国の事例を説明
 - ・ 歴史か国の歴史や熱心な講師の活躍の紹介
 - ・ 他国講師の知識

- 科目全般**
- ・ 視野の広がりが得られる
 - ・ 新しき見方への対する活用
 - ・ 企業生活への把握
 - ・ 全体的なイメージの判断や批評の指針
 - ・ 今後の学習の参考

- 印刷教材**
- ・ 巻末の「研究課題」
 - ・ 諸外国との比較学習
 - ・ 具体的な記述の入手
 - ・ 新しい情報の新鮮味
 - ・ 現代的な新鮮味
 - ・ 理解しやすい内容

気になった点

- 放送授業**
- ・ 印刷教材の棒読み
 - ・ インタビューが少ない
 - ・ 数師の具体的な解説がない
 - ・ 講師の音が聞きにくい
 - ・ 説明が重複している
 - ・ 成功例や失敗例を盛り込んでほしい
 - ・ 英単語の使用頻度が多い
 - ・ 印刷教材とリンクしていない
 - ・ グラフ(図)の説明に工夫が欲しい
 - ・ 最初に問題提起してほしい

- 単位認定試験**
- ・ 模擬解答がほしい
 - ・ 難易度が高い

- 印刷教材**
- ・ 分量が多い
 - ・ 法改正の追加資料(追補)がほしい
 - ・ 事例を増やしてほしい
 - ・ 写真や図解が少なく、注釈が不十分
 - ・ 裏付け(章末)に課題がほしい
 - ・ 重要参考文献の紹介が少ない
 - ・ 最終章がまとまらず、紹介が不十分

- 科目全般**
- ・ テレビ化してほしい
 - ・ 各論へ対しては、踏み込んでほしい
 - ・ 変動的な対話的議論を希望
 - ・ 専門用語が難しい
 - ・ 内容が網羅的すぎる
 - ・ 現状が、講師の連携が不足
 - ・ 海外取材の論点が不明

改善点の提案

- テレビ科目に変更する。また、各論を速く踏まえて対応する。
- 印刷教材はコンパクトにする。棒読みを避け、対話的議論を盛り込む。
- 法律等が改変され、最新の事例や注釈を充実させる。
- 印刷教材の棒読みを減らす。

よかった点（政策経営プログラム）

- 本科目では米国及びEU3カ国の企業統治について、歴史や現行制度の法令について、かなり詳細に解説している。これは、日本の企業統治との比較や影響を把握する上で有益であったと思う。市販の書籍ではあまり取り上げていない視点で、本科目のユニークな点だと評価している。

（女性・40代）

- テーマごとに、日本のトップクラスの専門家にインタビューを行う講義は、現在の日本の経済政策を理解する上で非常に有効であり、新しい知識が身につく視野が広がった。

（男性・50代）

- 地球をシステムとして学ぶ上で、テレビの映像が優れていて、本当に理解に役立った。人間が生きている時間・空間では、把握が不可能な映像を見て、物の見方・考え方に変化が生じた。

（男性・60代）

- 先進の事例を実施した市町村担当者へのインタビューが多く、現場の方の生の声を聞くことができた。各担当講師がそれぞれの専門分野を担当することで、放送教材がよくまとまっていたと思う。

（女性・30代）

- 自分が住んでいる県や市の行政に対して、これまでは何気なく要求や不満を投げかけていたが、地方自治政策を受講したことで、我が街の行政を大所高所から考えられるようになり、各種審議会委員やモニターとしても、体系的な見地から意見を述べられるようになった。

（女性・60代）

- 経済学の視点から、物事の考え方、見方の本質や視座を学びとることができた。大学院の科目なので、単に事実や説明にとどまらず、講師の意見も明確に述べられていて良い。

（男性・30代）

気になった点（政策経営プログラム）

- 印刷教材の棒読みでした。もっと取材した感じを示して欲しかったです。ラジオはほとんど棒読みの（印刷教材）教科がほとんどです。そこを直してもらわないと困ります。ラジオの存在そのものを生かしていない、もったいないです。

（不明・30代）
- 何よりもラジオでの講師の声が聞きとりにくいと感じました。教材の中身を読むだけなら、アナウンサーに録音してもらった方が良いと思います。

（男性・30代）
- 各所に研究課題が示されていて学習の助けになるが、内容がやや煩雑であり、難しいものも含まれている。また、模範的回答例のない点が問題である。各章すべてではないにしても幾つかやってみて、その回答を送付して、指導・助言を得られればよいと思う。

（男性・40代）
- 印刷教材に誤りが多すぎる。これだけの量の正誤表をつけるなら、もう一度作り直すべきでは。

（女性・20代）
- ぜひテレビ放送にして欲しかった。ビデオ画像、グラフ、表などを番組中で利用しながら説明して欲しかった。経済政策は、GDP、金利などの相関を論ずる内容が多いので、テレビで説明されれば理解しやすく面白みが出ると思う。

（男性・50代）
- グラフ（図）の説明に工夫が欲しい。テレビであれば判り易い説明が出来るようラジオ放送のため理解が難しい。

（男性・70歳以上）
- 各章にポイントのまとめのようなものがあれば助かる。

（男性・60代）
- 数式については、具体的な数値を入れて解説して欲しい。

（男性・40代）

教育開発プログラム科目

よかった点

授業科目案内
・講義内容の明示

放送授業

- ・語りかけるような口調
- ・対談形式の「まとめ」
- ・多岐にわたる例示
- ・体験談の情報入手の具体的な解説
- ・最新問題の印刷教材の掲載順

- 印刷教材
- ・分りやすい書き込み
 - ・実際の表の「研究課題」が多い
 - ・新教材のデータ量
 - ・多くの参考文献の整理
 - ・知識の整理に役立つ

科目全般

- ・視野の広がりが口調から見直し
- ・様々な役割実践の確保
- ・幅の広い実践の積み重ね
- ・日常のなごやかな指導の機づけ
- ・新研究の生徒への学習への
- ・多様な指導の
- ・生徒の学習への

気になった点

放送授業

- ・印刷教材の棒読み
- ・抽象的表現が少ない
- ・専門用語の説明が不足
- ・図や表の少ない
- ・現場での比喩を重ねる回りくどい表現
- ・事例を多くしてほしい
- ・印刷教材のズレ
- ・ゆっくり講義してほしい

通信指導

- ・模範解答がほしい
- ・コメントが少ない

単位認定試験

- ・科目全体にわたる出題でない

印刷教材

- ・分量が多すぎる
- ・重複的記載が多い
- ・学術的明瞭性が低い
- ・執筆者がバラバラ
- ・電話証言の章
- ・各章の最後
- ・キーワートがほしい

科目全般

- ・テレビ教材の活用
- ・具体例の増やし
- ・講師のより実践的な
- ・疑問に
- ・教員に
- ・材料を
- ・しよ
- ・てま
- ・ほし
- ・しい
- ・が
- ・無
- ・い
- ・が
- ・あ
- ・る
- ・い
- ・言
- ・が
- ・得
- ・ら
- ・れ
- ・な
- ・い

改善点の提案

- 放送授業の棒読みを避け、話し言葉で丁寧な説明をする。
- 抽象的表現を減らし、具体的な事例や図表を多用する。
- 印刷教材の分量を減らし、重複的記載を削除する。
- 通信指導の模範解答やコメントを増やす。
- 単位認定試験の科目全体にわたる出題にする。
- 印刷教材の執筆者を統一し、各章の最後、キーワートを追加する。

よかった点（教育開発プログラム）

- 教育現場で長く仕事をしていると、どうしても現象面に目がいき、その対応にエネルギーがさかれてしまう。しかし、今一度原点に立ちかえり、また、広い角度からとらえ正していく作業を受講しながらすすめることができた。
(女性・50代)
- 教育という分野を教育・文化という幅広い視点から見直せたこと。常に教育委員会所管の“教育センター”の教育技術論や質問を許さない講習、また決まりきった押しつけの内容を考えると、巨視的な視点で多角的に考えられたことがよかったと考えています。
(男性・50代)
- 教育という営みをとらえるための多様な視点が得られたこと。
同時に、学問的取組みの現状に対する理解の機会が与えられたこと。
現場実践と学問的研究との関係について考えさせられたこと。
(男性・60代)
- 教育に関する様々な問題を解決するカギがこの教育文化論の講座に含まれていて、教師として生徒を指導していく上で大変参考になりました。
(男性・50代)
- テキストには新しいデータが多く取り入れられていて、大変興味深いものでした。現代社会の見方を「教育」という視点から、様々な切り口で与えてくれました。
(女性・30代)
- 学校という場に対する新しい視点を学ぶことができ、有意義でした。問題意識を深める上で、とても役に立ったと思います。
(女性・40代)
- かなり多くの参考文献が一つの情報として示されており、勉強の手がかりとなった。
(女性・不明)

気になった点（教育開発プログラム）

- 印刷教材と放送授業の関係については、もう少し工夫していただきたい。
読んで分かる部分は、印刷教材どおりに台本を読まれるとややがっかりします。また、対談部分については、逆に印刷教材にレジュメ程度は記載して欲しいと思います。

（男性・50代）
- 印刷教材の中で意味の分らない単語（特にカタカナ）が出てくると調べるのが難しく、スペルを適当に考え英和辞書を引いたがわからないものもあった（学部のもはそういうのが少ないが院は多い）。意味の説明があるとありがたいと思った。

（女性・40代）
- テレビ教材にして、もう少し視覚に訴えるべきものが用意されると、理解もより深まると思う。

（女性・50代）
- 抽象的な表現がわかりにくかった。もう少し具体的に説明していただきたいかった。

（女性・30代）
- 通信指導の返却されたもののコメントが、「考察が足りない」という一言だけだった。指摘はその通りと思っているが、どんな点がという解説が欲しかった。

（男性・40代）
- 事例（ケース）の紹介が少ない分、臨場感に乏しかった。詳細まで含めて多くの事例を扱うのは難しいと思うが、簡略化してでも多くのケースに接することが、実務上の役に立つのでは、と思われた。

（男性・40代）
- 15章の中で重複している内容があったので（重複していることは、それだけ大切なことだとは思いますが）、もう少し印刷教材をコンパクトにまとめてもらえたらありがたいです。

（女性・20代）

臨床心理プログラム科目

よかった点

放送授業

- ・各分野の専門家の話が
- ・実証的、事例的内容が多い
- ・先生方がいきなり熱い
- ・映像がAIの抱えきれない
- ・クイズや現代の発展への
- ・現講

印刷教材

- ・幅広い知識の獲得
- ・引用や参考文献のまとまり
- ・概要の理解
- ・新歴史的な流れの理解
- ・全体的な把握
- ・具体的な記入シートのサンプル等

質問票

- ・的確な答え

通信指導

- ・丁寧な書き込みの指導

科目全般

- ・仕事に役立つ
- ・実践的立場での整理
- ・視野の広い体系的な学習
- ・知識の整理に役立つ
- ・修論の構成に役立つ
- ・幅広い自研の網羅の深まり
- ・卒業自研の役割
- ・社情の理解

気になった点

放送授業

- ・テキストの棒読み
- ・TV画面のわかりやすい
- ・先生方の意見が少なく
- ・専門的意見が少なく
- ・講師の法に替わりの多い
- ・ポインツの臨床場面の紹介が少なく
- ・海外でやると教える姿勢が伝わらない
- ・印刷教材と内容が重複

印刷教材

- ・記述が冗長
- ・分量が多い(カウンセリング事例等)が少ない
- ・引用や参考文献が多すぎ
- ・不必要の難文の多用
- ・各章の関連が薄い
- ・各章ごとの分量の差が大きい
- ・人名索引の入り込みが不足

授業科目案内

- ・詳細を掲載してほしい

単位認定試験

- ・択一式で容量すぎる
- ・時間が足りない
- ・考え方を問うべき

科目全般

- ・他科目との重複が多い
- ・テレビマの講師の経験が豊富
- ・実践的経験の豊富
- ・他分野の経験が豊富
- ・網羅性が高い
- ・各分野に重点を置くべき

改善点の提案

- テレビ番組の変更を繰り返す。
- 各回の教材は、1冊の重なりを減らす。
- 印刷の教科書は、1冊の重なりを減らす。
- 他講義の単位認定試験は、1冊の重なりを減らす。
- 単位の認定試験は、1冊の重なりを減らす。

よかった点（臨床心理プログラム）

- 臨床心理学全体をとらえ、より専門的に勉強していく方向性をつかむのに役立った。講師の学問への姿勢が伝わり、専門家になっていこうという意欲が高まった。ゲストも含め、多くの先生の話を書くことができたのが良かった。

（女性・40代）
- 知識が得られ、実践の場で大変役立っている。

（女性・60代）
- コンパクトにまとめられており、繰り返しテキストを学ぶことで基礎的な知識が身につくように思われる。

（男性・50代）
- 心理学を学ぶと、個人の内界で生じるプロセスに焦点をあてがちになるが、この科目を受講することによって、外界の影響も重要であることを理解した。このことは人間を理解する際には、多角的視野が必要であることの認識にもつながり、個人の内界を見つめるときにも多様な視点を意識することを促した。

（男性・40代）
- ごくありふれた日常の中に研究の対象となる素材が存在していることに気づかされたこと。

（男性・40代）
- パーソナリティと社会心理学、集団過程、組織内キャリアについては、日常の仕事を遂行していく上で役立った。非行・犯罪の理解や被害者・被災者の援助については、新たな知識を習得でき、視野を広げることができてよかった。

（女性・50代）
- 視野が広がった。物事を違った見方でとらえることができた。

（女性・不明）

気になった点（臨床心理プログラム）

- 講師によっては文字通り、印刷教材の棒読みなので、放送授業の位置づけの明確化、改善をお願いいたします。印刷教材を読めばよい内容、印刷教材内でも強調すべき、もしくは留意すべき点、印刷教材外のトピックスや事例など、授業のメリハリが欲しいです。

（男性・40代）
- 「印刷教材の棒読み」、「印刷教材と放送教材の重複」をなくすため、テレビ化、印刷教材のビジュアル化（カラー化、図表の多用等）を図って欲しい。

（男性・40代）
- アセスメントについては、具体的方法の映像を交えて講義を進めた方が理解しやすい。

（男性・50代）
- 章の最後に、学習課題としての問いをつけて欲しい。章の内容を知るだけでなく、よく検討することで、より理解が深まると思います。

（女性・20代）
- 個々の研究を紹介していただけるのはおもしろかったが、そこから、他の分野との関係についての明示があった方が関心を広げやすいのではないか。

（女性・30代）
- 講師によって使用するフリップの量が違いますが、フリップを多用している先生の放送授業の方がよく頭に残りました。作成されるのは大変だと思いますが、できればフリップを多用していただきたいと思いました。

（女性・40代）
- 科目の特徴とは思いますが、扱う分野・範囲が広すぎるように感じました。

（女性・30代）

改善するための提案（大学院の全プログラム（群）を通じて）

放送教材(テレビ)に関して：

- 放送教材（テレビ）の中で用いられる図や表については、印刷教材に載っている時と載っていない時があるので、印刷教材の後ろに資料としてまとめてでも良いので、載せておいてほしいと思う。

（女性・40代）

- 講師の「えー」が多く、聞きづらかった。机に座るから「えー」が多くなるのでは？ 普通の大学の教壇を作り、学生を入れて講義を行い、それを後ろから録画すれば良いと思います。

（男性・20代）

- 学生間の質問のやり取りを講義の内容に取り入れてほしい。

（男性・20代）

放送教材(ラジオ)に関して：

- すべてテレビ教材として、インターネットで見られる様にしてほしい。ラジオ教材は印刷教材の棒読みが多く、聴いていて興味をもてない。

（男性・30代）

- ラジオの特徴を活かして工夫して欲しい。映像のない分、教科書を充実させ、図表や写真を多く用いたり、練習問題を多くしたりして、テレビ科目に対抗して欲しい。

（男性・60代）

印刷教材に関して：

- 近年、環境や制度は大きく変動してきており、できる限り印刷教材の内容や講義をそれに対応したものとして頂きたい。迅速に必要な応じた修正を加えて欲しい。

（男性・30代）

- 時代のイメージを持ちたいので、グラビア（カラー）を付けて欲しい。

（男性・60代）

通信指導に関して：

- 通信指導によるレポート提出の回数を2回にして欲しい（通信指導の提出から第15回が終わる認定試験までの期間が長いため）。

（男性・50代）

- 通信指導の模範解答が欲しい。どこが不足でどこを改善すべきか、今後の学習ポイントになる点の明示を希望します。

（女性・40代）

- 通信指導のコメントをもう少し多くしてほしい（なぜ評価がこうなったのか、少しでも分かる様にしてほしい）。

（男性・40代）

単位認定試験に関して：

- 単位認定試験の問題は、授業内容と整合したものにして欲しい。印刷教材ではごく僅かな説明、あるいは全く説明のない用語の多くについて「述べよ」の問題には驚いた。

（男性・70歳以上）

- 通信指導の点数も含めて科目の成績を評価してほしい。

（男性・30代）

その他：

- 大学院博士課程を設置してほしい。

（男性・60代）

- 各章の研究課題をこなしても、誰のチェックも受けられない。学習センターに文章の指導をしてくれる先生（指導者）を置いてほしい。中間の通信指導では返送が遅いし、再提出や書き直したものを見てもらうことができない。

（女性・40代）

- 大学を卒業して15年、いろいろなことを忘れてしまっている。この科目を学ぶために必要な復習をする方法や教材について指導してほしい。

（男性・30代）

- 継続科目登録をインターネットでできるようにしてほしい。放送授業（テレビ・ラジオ）のネット配信を進めてほしい。

（男性・30代）

- ラジオ、テレビによる講義の他に、インターネットを活用した講義を今以上に取り入れ、時代の最先端を行く放送メディアの教育を行ってほしいです。また、教育内容等だけでなく放送大学全般についてのアンケート調査も行い、全業務の改善に役立てていただきたいと思います。

（女性・30代）

- 生涯学習機能がますます必要となるため、もっと多種の科目を設定してほしい。多種多様な内容の網羅をお願いします。

（男性・50代）

- 学習センターをもっと仕事をしている人に利用しやすく、夜間、祝日にも開けてほしい。

（女性・50代）

- 再放送枠を夜間でもよいから設けてほしい。

（男性・50代）

- 科目登録のタイミングをもう少し後にしてほしい。今学期の単位が取れたかどうかで登録する科目を考えたい。どうしてもそれが不可能なら、単位認定試験に配点を明示するなどして、単位が取れたのかどうかを予測しやすくしてほしい。

（女性・30代）

- 学習センターで視聴する際、外国語の勉強ブースに工夫が欲しい（声を出して勉強したいができないから）。

（女性・50代）

- 既修得単位の多い全科入学者は1年で修士を取得できるようにしてほしい。

（男性・40代）

- 本大学の学部の面接授業で先生を囲んで雑談をしたり、課外授業に出たりした楽しい思い出が沢山ありますので、大学院でも面接授業を行うことを希望します。

（女性・70歳以上）